

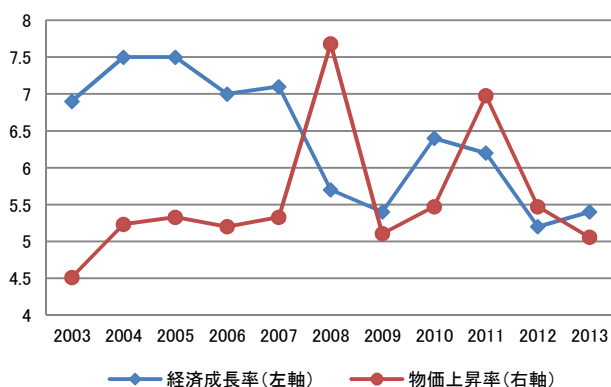
2013年ベトナム経済事情

2014年1月 在ベトナム日本国大使館・経済班

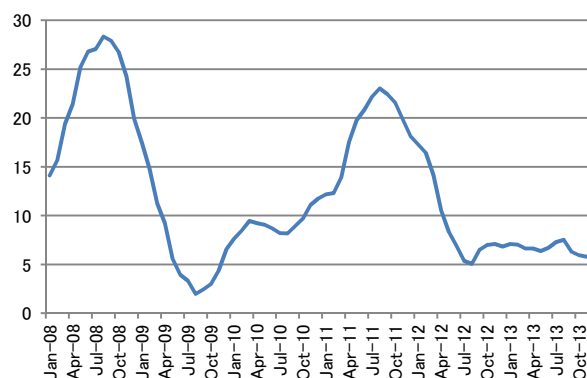
経済成長・インフレ

- 前年に引き続き、インフレ率等のマクロ経済は安定。他方、経済成長率(実質 GDP 成長率)は 5.4%と、前年(5.2%)よりは上昇したものの、政府目標の 5.5%を下回り、引き続き伸び悩んだ。セクター別では、国内総生産の約 4 割を占めるサービス業の成長率が 6.56%となり、前年の 5.90%から大きく伸びた。
- 消費者物価指数(CPI)の上昇率は、2013 年末の前年末比で 6.04%となり、政府目標(7%未満)を達成。年平均でも 6.6%となり、過去 10 年間で最低を記録した。

実質GDP成長率と消費者物価上昇率(前年比, %)



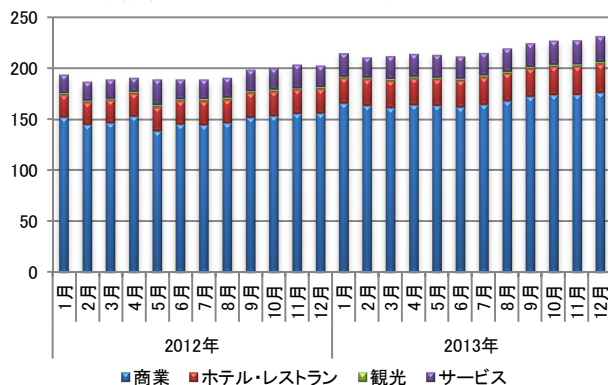
消費者物価上昇率(前年同月比, %)



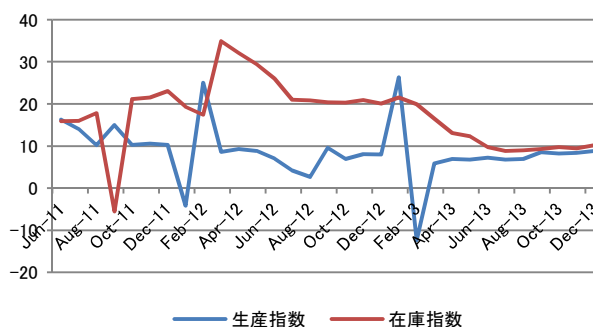
小売・製造業

- 2013 年の財貨・サービスの小売販売は、名目で 12.6%増、物価上昇分を除いた実質で 5.6%増となった。2012 年の同 6.5%増よりも伸びはやや鈍化している。
- 製造業の生産指数は前年比 7.4%増となり、2012 年の 5.5%より上昇、回復の兆しを見せている。また、在庫は落ち着いてきており、製造業購買担当者指数(PMI)も 2013 年第 4 四半期にプラスに転じている。

財貨・サービスの小売販売動向(兆ドン)



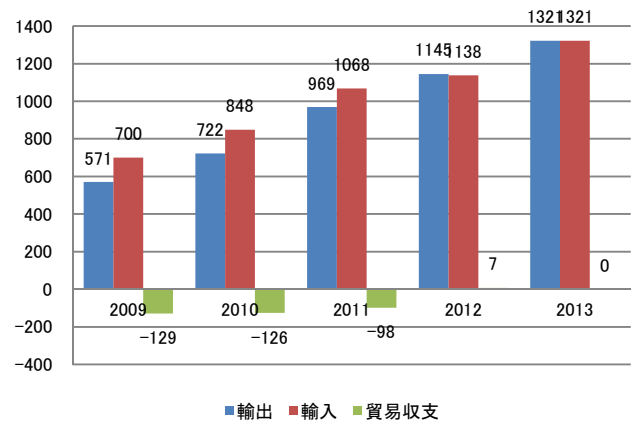
製造業における生産指数・在庫指数の上昇率(対前年同月比, %)



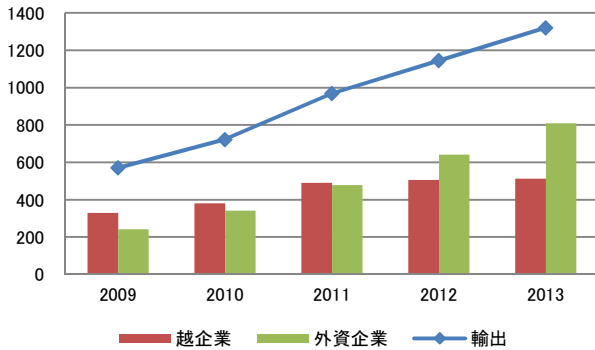
貿易・投資

- 2013年の輸出額は前年比15.4%増の約1321億ドル。他方、輸入額は前年比16.1%増の約1321億ドルで、貿易収支は約900万ドルの黒字となった。下図のとおり、近年の輸出入額の増加は外資企業が牽引している。
- 輸出品目別で見ると、携帯電話・同部品が前年比67%増と大きく伸び、縫製品を超えて第1位の輸出品目となった。具体的な構成比は、携帯電話・同部品(16%)、縫製品(14%)、PC・電子機器・同部品(8%)、履物(6%)。一方、輸入では、機械設備・同部品(14%)、PC・電子機器・同部品(14%)、布地(6%)、携帯電話・同部品(6%)。外資企業による携帯電話組立製造が伸びたことに伴い、携帯電話部品の輸入も前年比60%増。なお、携帯電話部品の輸入は約70%が中国から、約27%が韓国からである。
- 輸出額と輸入額を足した貿易額では、中国、ASEAN、EU、米国、韓国、日本の順となっており、二国間で日本は2012年の第2位(中国に次ぐ)から、第4位に後退。

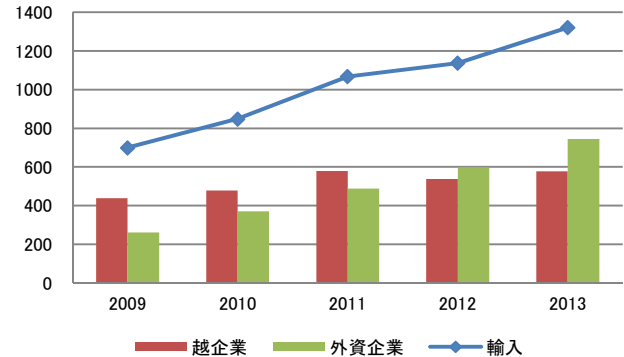
貿易動向(億ドル)



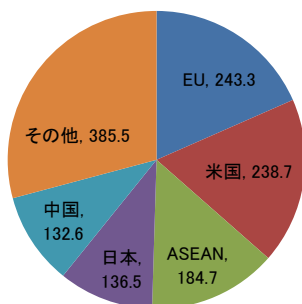
輸出額推移(億ドル)



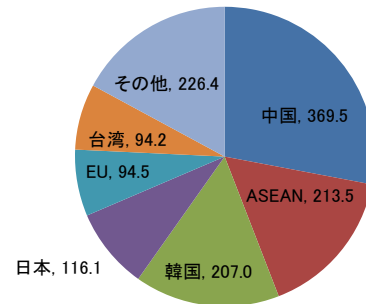
輸入額推移(億ドル)



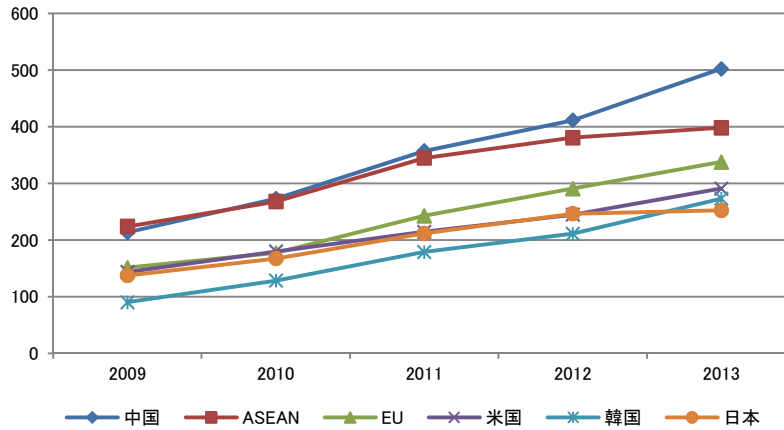
主要輸出先(億ドル)



主要輸入元(億ドル)

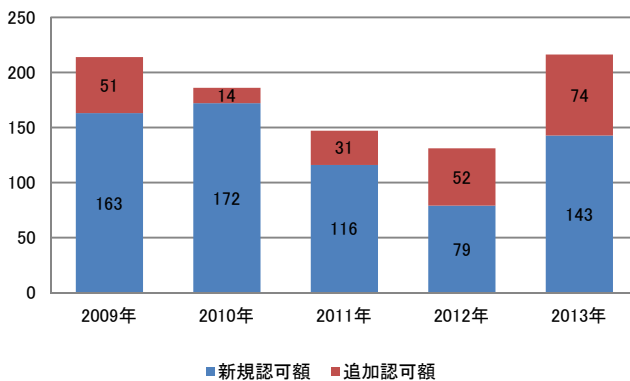


主要国・地域との貿易額推移(億ドル)

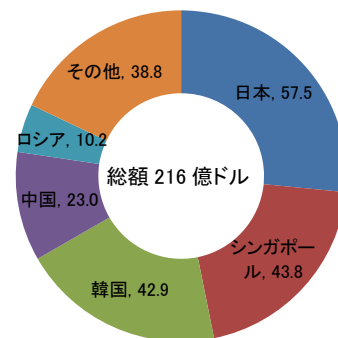


- 2013年の対越FDI認可額は前年比54.5%増の216億ドル。このうち、日本からの投資が57.5億ドル（全体の27.6%）で第1位。ただし、韓国のサムスン社がシンガポール経由で約30億ドルを投資している。2013年12月15日現在のストック（累積）ベースでは、日本が345.8億ドル（全体の15.0%）で第1位。
- 2013年に認可された大型投資案件は以下のとおり。
 - ① ギソン精油所（ティンホア省）案件（日本，28億ドル，増資）。
 - ② ヴィンタン第1火力発電所（ビントゥアン省）案件（中国，20億ドル，新規）。
 - ③ サムスン電子タイグエン工場（タイグエン省）案件（シンガポール，20億ドル，新規）。
 - ④ LG電子工場（ハイフォン市）案件（韓国，15億ドル，新規）。
 - ⑤ サムスン電子機械工場（タイグエン省）案件（韓国，12億ドル，新規）。
 - ⑥ バス組立工場（ビンディン省）案件（ロシア，10億ドル，新規）。
 - ⑦ サムスン電子バクニン工場（バクニン省）案件（シンガポール，10億ドル，増資）。

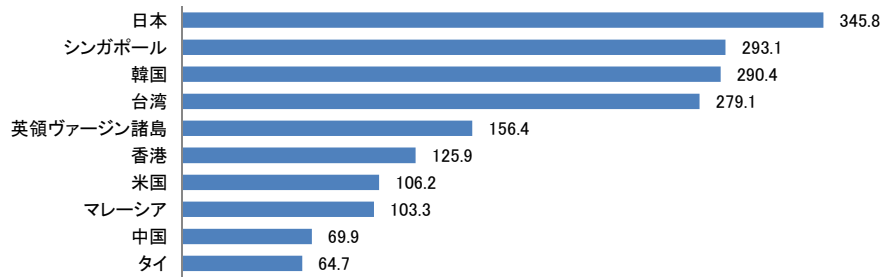
対越FDI認可額(億ドル)



投資国・地域別



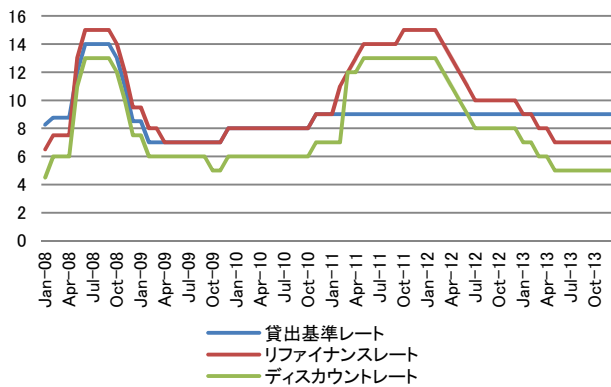
累積投資認可額(2013年12月15日現在, 億ドル)



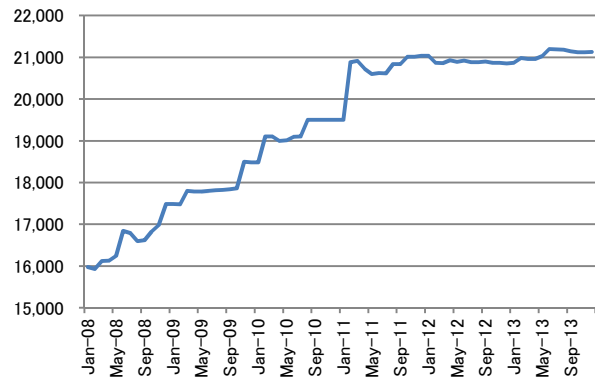
金融

- 3月26日及び5月13日に、国家銀行はリファイナンスレートとディスカウントレートを、それぞれ1%ずつ引き下げた。2013年末現在の政策金利は、貸出基準レート:9%, リファイナンスレート:7%, ディスカウントレート:5%。
- 6月28日、国家銀行は通貨ドンを1%切り下げ、基準レートを1ドル=20,828ドンから1ドル=21,036ドンに変更したが、全般的に為替レートは安定。
- 金融機関の信用残高の伸び率は12.5%となり、10%を下回った前年より回復した。

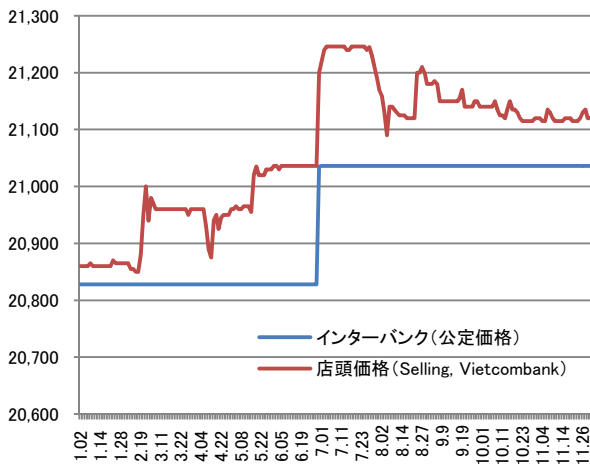
政策金利の動向(%)



VND/USD為替レート



VND/USD為替レートの推移(2013年)



信用残高の伸び率(%)

